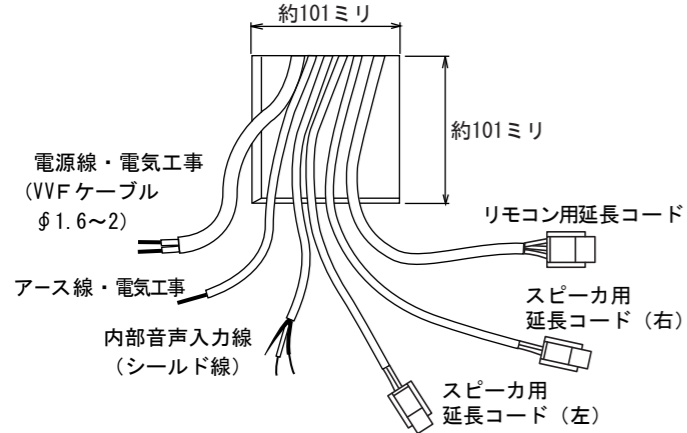


パワーアンプの取付け及び配線

取り付け前のご注意

- 電気工事は電気設備基準や内線規定に基づき、電気工事士の免許を持った方に必ずご依頼ください。
- 防水形ではないので水のかからない場所に設置すること。
- 配線はアンプ裏面の端子接続図を参照の上、正しく接続してください。
- メンテナンスの際に本体を容易に取り外せるように余裕を持って配線をしてください。

- 壁に四角い穴をあけ、必要なケーブル類を出す
パワーアンプの取り付け場所に100ミリ×100ミリよりやや大きめの四角い穴をあける。(裏カバーの大きさは100ミリ×100ミリです。)

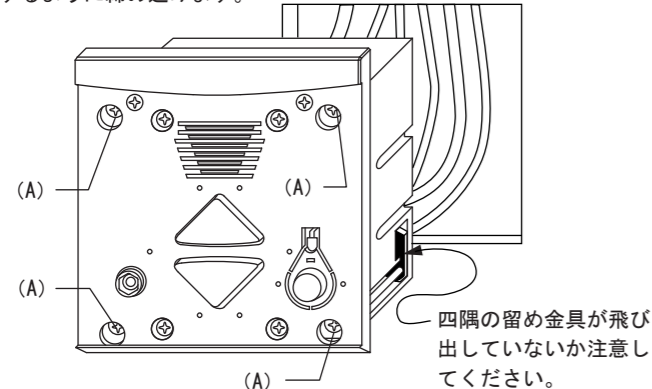


2 アンプに各ケーブルを配線する

- ケース裏面の端子接続図を参照して正しく接続してください。
- ① 電源線は電源用コネクタの白色と黒色の端子台へ配線用遮断器(単相AC100V)から電源ケーブル(VVFケーブル:φ1.6~2mm)で直接接続してください。
- ② アース線は電源用コネクタの緑色の端子台に接続します。
- ③ 2本のスピーカケーブルはスピーカ用の2Pの端子台へ、1本のリモコンケーブルはリモコン用の3Pの端子台へ、コネクタがクリックするように正しく接続してください。(コネクタを逆に挿した場合にクリック感がないので注意してください。)
- ④ 有線放送や、TVの音声信号のケーブルがある場合は、音声用コネクタの赤色、黒色、白色へ端子接続図を参照の上、正しく接続してください。

3 アンプを壁に取付ける

- アンプの裏カバーから4箇所の固定用金具が飛び出していないことを確認して、アンプ本体を接続ケーブルごと壁の穴へ収納します。
- 裏カバーに付属した四隅のネジ(A)を対角線の順にアンプが固定するように締め込みます。



5 点検と試運転

- 各機器の取付けと結線に誤りがないか確認してください。
- 一般動作の確認は取扱説明書を参照してください。

警告

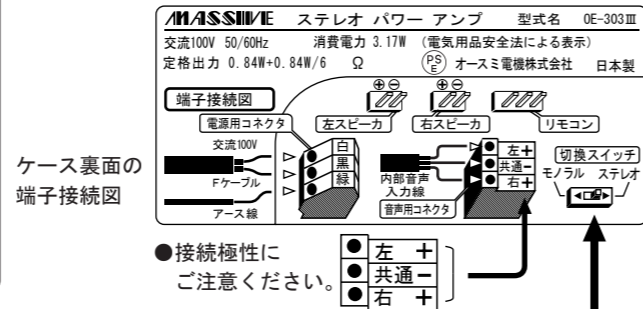
工事の際は、必ず屋内開閉器(ブレーカー)及び漏電遮断器を設置すること。

注意

配線は正しく行う。ショートや、誤配線は火災や機器の故障の原因となります。

注意

インパクトドライバーは使用しない。電気ドライバーを使用の際は締め過ぎて壁板やネジを傷めないように注意してください。

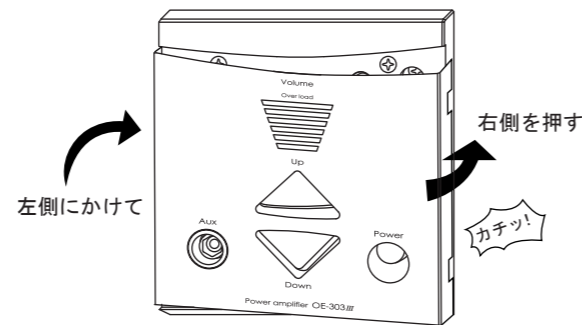


お願い

スピーカを2部屋に1個づつ設置する場合はモノラル配線になりますので、切換スイッチを左側の「モノラル」に合わせてください。

4 フロントパネルをアンプ本体に取付ける

フロントパネルの左内側をアンプ本体の左側面にはめ込み、フロントパネルの右前面をアンプ本体に押し付けるとスムーズに固定できます。



パネルに関するご注意:

- ◆ 正面からパネル全体を押し付けるとパネルに無理な力がかかりパネルが変形する場合があります。また、右側からはめ込むと、AUX突起部の一部が擦れて小さな傷が付く場合があります。
- ◆ メンテナンスでフロントパネルを外す場合は、パネルの左右面どちらかの角型の切込み部にマイナスドライバーのようなものを差し込み前方に押し出します。その際にはパネルが床などに跳ね落ちて破損、変形などの原因にならぬようご注意ください。

オースミ電機株式会社

〒344-0014 埼玉県春日部市豊野町2-5-4
TEL 048-745-7770 FAX 048-745-7771

工事手順説明書

MASSIVE

オーディオシステム OE-303Ⅲ

施工される方へ

- ◆ 据付工事の前に、この安全上のご注意をお読みの上、正しく据付けてください。
- ◆ 据付工事完了後、工事手順説明書にある点検項目にしたがって各部の点検を行い、器具のがたつきや漏電などの安全上の不具合がないことを確認してください。
- ◆ 据付工事で発生した廃棄物は、廃棄物処理法等の法令にしたがって行ってください。
- ◆ オーディオシステム OE-303Ⅲの取扱説明書は使用者に製品を正しく安全に使用していただくための重要書類です。紛失したり汚したりしないよう大切に保管し、工事完了後は、使用者または建築工事責任者にお渡しく下さい。

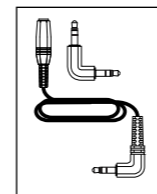
■ 図記号について

	警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容です。		禁止	この表示はしてはいけない「禁止」の内容です。
	注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。		強制	この表示は必ず実行していただく「強制」の内容です。
	お願い			お願い	安全に使用していただくために理解していただきたい内容です。

部品の確認

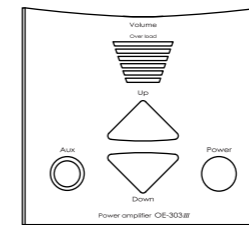
●取付けの前に梱包内の部品を確認してください。

L形プラグ/プラグジャックコード(ポリ袋入り)



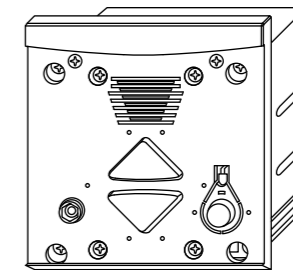
1組

フロントパネル



1個

アンプ本体



1個

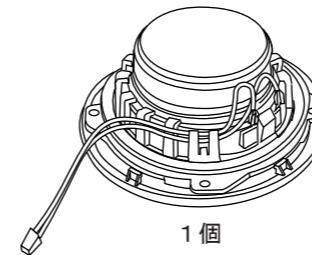
赤外線リモコン送信器



1個

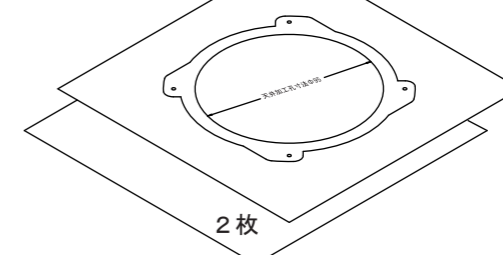
※電池は内部にセット済みです。

防水形スピーカ(グリル/パッキン一体)



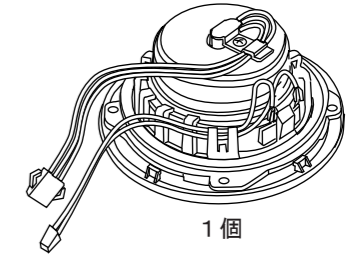
1個

天井取付け用テンプレート



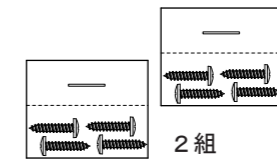
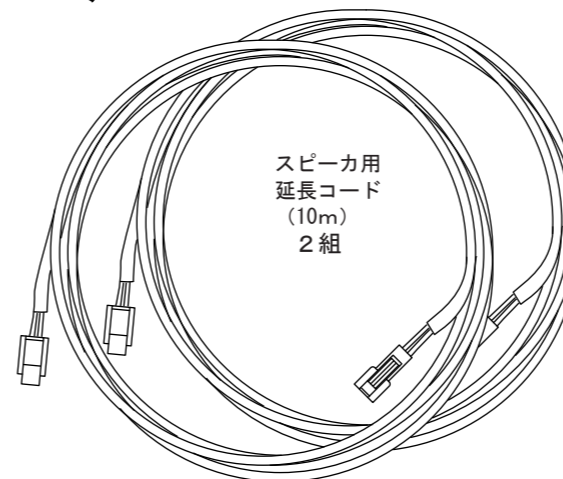
2枚

リモコン受光部付き防水形スピーカ(グリル/パッキン一体)



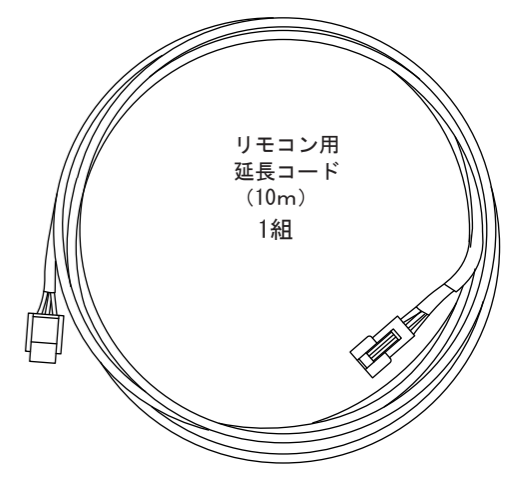
1個

スピーカ用延長コード(10m) 2組



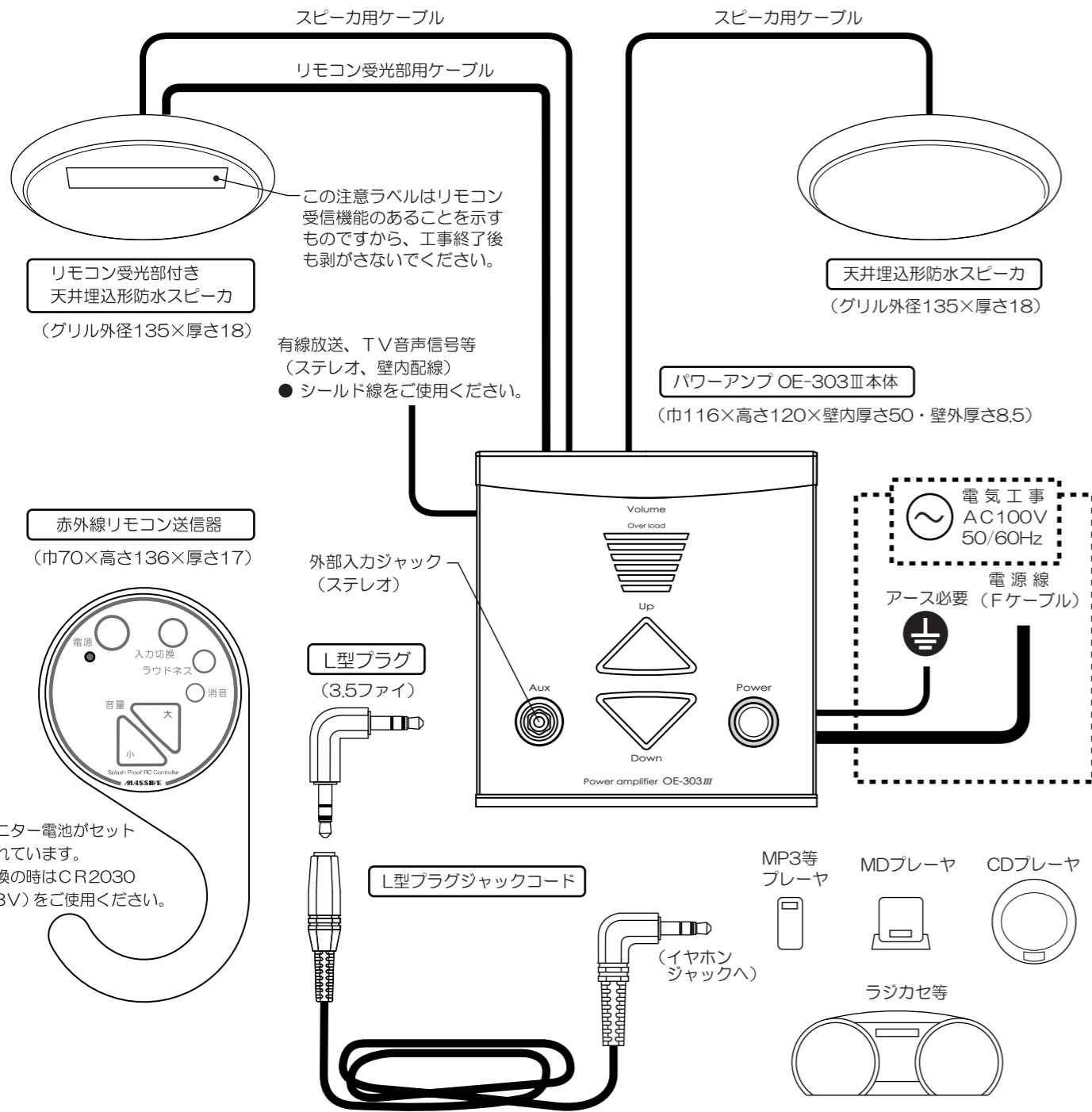
2組

スピーカ用固定ビス(ポリ袋入り)

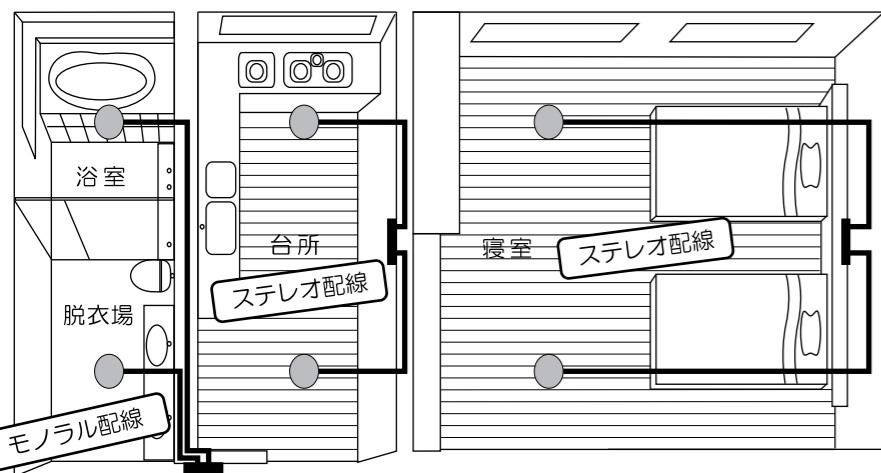


リモコン用延長コード(10m) 1組

全体のシステム図



● モノラル/ステレオ配線の設置例



警告

工事の際は、必ず屋内開閉器 (ブレーカー) 及び漏電遮断器を設置すること。

注意

配線は正しく行う。ショートや、誤配線は火災や機器の故障の原因となります。

OE-303Ⅲ オーディオシステムは裏面のスイッチにより簡単にモノラル/ステレオ配線に対応できますので設置箇所に対する自由度が広がります。

スピーカの取付け及び配線

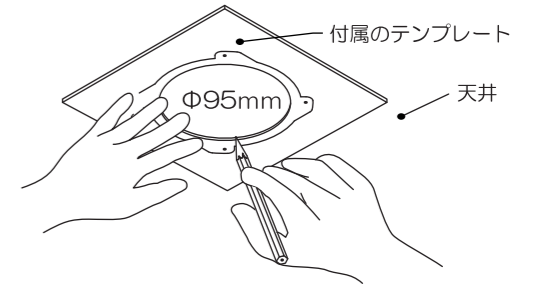
取り付け前のご注意

- 1 リモコン受信器付きスピーカは、右図のようにリモコンが真下から操作できる位置に設置してください。
- 2 ステレオ配線ではスピーカを1部屋の左右に2個設置し、モノラル配線の場合は2部屋に各1個設置します。(OE-303Ⅲはステレオ/モノラルの設定ができます。)
- 3 天井板が弱い場合は天井内側を補強材でたわまないようにしてください。
- 4 スピーカは天井に溝などがある場所には取付けできません。
- 5 スピーカはサウナ・スチームサウナなどの高温 (50℃以上) になる場所には取付けできません。
- 6 メンテナンスの際にスピーカを容易に取り外せるように余裕を持って配線をしてください。



1 天井にスピーカ取付け用の穴をあける

- 取付け位置にテンプレートを使ってΦ95mmの穴をあける。
- モノラル配線でスピーカが別の部屋に取付けられる場合はリモコン操作をする部屋にリモコン受光部付きスピーカを取付けてください。



2 スピーカ用延長コードとリモコン用延長コードの配線をする

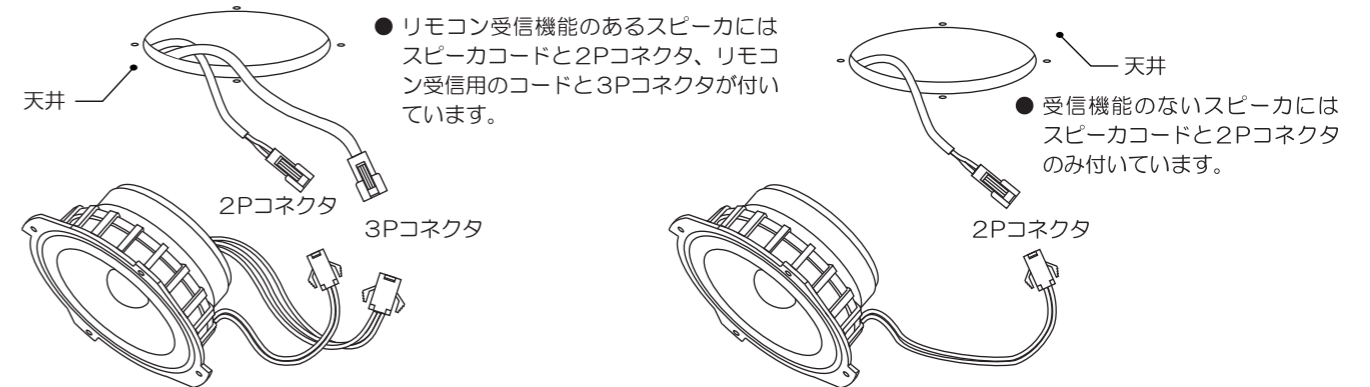
付属のスピーカ用延長コードとリモコン用延長コードをスピーカ取付け位置からパワーアンプの取付け場所 (浴室以外の湯水のかからない脱衣室など) まで配線する。

- ご注意:
- 1 コネクタはスピーカ側とアンプ側、及びリモコン用とスピーカ用は形状が異なります。後で誤配線の原因にならぬよう注意してください。
 - 2 延長コードが長過ぎる場合は、切らずに、直径30cm程度の巻き巻きをして天井内の隅に置くなど、適切な処置をしてください。

注意

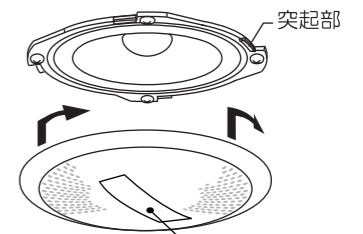
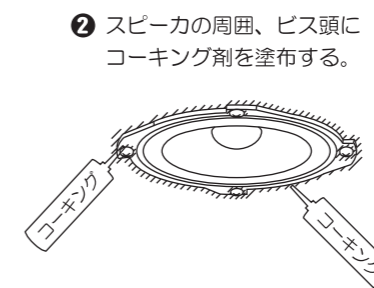
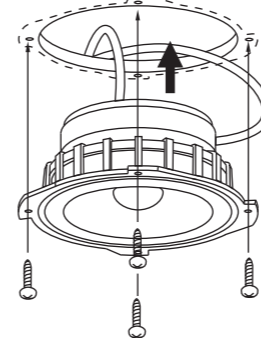
配線は正しく行う。ショートや、誤配線は火災や機器の故障の原因となります。

3 スピーカコードのコネクタと延長コードのコネクタを接続する



4 スピーカを取付ける

- 1 スピーカを天井穴に差し込み、付属のビスで固定する。
- 2 スピーカの周囲、ビス頭にコーキング剤を塗布する。
- 3 スピーカグリル内側のツメをスピーカの突起部に合わせ右回転させて固定する。



リモコン受信機能のあるスピーカを示すラベル

注意

インパクトドライバーは使用せずに必ず、手締めで確実に取付けてください。取付けが不十分な場合、スピーカが落下し、けがの原因となります。

お願い

リモコン受信部付きスピーカに付いている注意ラベルはお客様が使用するまで剥がさないでください。